

第 281 回定例会（令和 2 年 3 月議会）

一般質問

3月9日、11日の本会議では、11名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。（発言順に掲載）

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（5月下旬掲載予定）にてご覧いただけます。



障がい者支援について



中右 憲利 議員
（令和新風加西）

問 昨年 11 月の議会と加西市手をつなぐ育成会との意見交換会での要望に基づく質問だが、近くに障がい者の短期入所施設が少ないことへの対策について。

答 緊急時の受け入れに対応するための地域生活支援拠点の整備、事業所の新規開設を促

すための補助制度を検討しています。

問 障がい者福祉担当課における専門職の配置について。

答 社会福祉士の採用や保健師の配置等、可能な限りの対応はしています。加えて、障害福祉サービスの情報提供や相談等の業務を委託している基幹相談支援センターでは、相談支援専門員 6 名が常駐しています。また今後研修等で職員のスキルアップにも努めます。

問 障がい者の就労支援について。

答 相談者の状態に応じた就労訓練や支援を行っています。また、市役所内の軽作業を事業所に委託し、就労訓練事業も行っています。今後は農福連携など新しい取り組みも研究し、障がい者の就労支援に努めます。

問 障がい者の災害時の避難手順等について。

答 まずは一時避難所の小学校等に避難し、必要であれば福祉避難所に移動するという手順です。今後は福祉避難所の周知、災害時のマニュアルの作成等に取組みたいと考えます。

新型コロナウイルスへの対応、都市計画税について



黒田 秀一 議員
（自由民主党・無所属の会）

問 加西病院の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ体制について。

答 別棟で管理する感染症病棟で受け入れます。また、感染症管理の専門資格を持つ 2 名を配置し、常に準備しています。さらに、加東健康福祉事務所と連絡

を密にし、対処マニュアル、防護服等の用意を常時確認、訓練し、受け入れ準備をしています。

問 市内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の市の対応について。

答 加西市新型インフルエンザ等対策行動計画に準じて対策本部を設置し、市の対応について意思決定を図っています。市の主催行事の中止や延期、公共施設の利用自粛、臨時の休校措置、また生活支援対策等も行っています。また、マスクの備蓄数は 8 万枚程度です。（3月9日現在）

問 都市計画税はどのような事業に充当しているのか。

答 市街化区域内の都市計画事業、都市計画道路の整備、都市公園の整備や雨水渠整備、下水道事業の実施など、貴重な財源として有効に活用しています。

問 下水道事業会計における都市計画税充当事業の収支の明記について。

答 都市計画税は市街化区域内における狭義の公共下水道事業に活用しており、今後は、特定環境保全公共下水道事業と分けた収支表記とするよう考えます。